

診断結果等

団体名	島田市
診断対象紙名	広報しまだ 4月号
1 全体企画	<p>ページ数を比較的たっぷり使えるようで全体的に窮屈感はありません。新年度の予算紹介という「読み物」としてはとっつきにくい記事を写真や親しみやすいアイテムで上手にフォローしていて好感が持てます。色もふんだんに使用していて読みやすくとても良いですね。</p> <p>行政の広報誌という体質上、「報告・告知」が主たる目的となるためどうしても「硬く」「つまらなく」なりがちです。読者も好意をもって読むのではなく「情報収集、確認」のために読んでいるような記事も当然ありますので工夫が大事ですね。でも全体の企画としては「情報告知記事」の他にラヂメシ、逸品、ひろば、羅針盤などを入れているのは良いと思います。</p>
2 文章・表記	<p>文字の大きさや扱いはとても上手だと思います。読みやすい紙面づくりができていると思います。文字を効果的に見せるための「余白」の使い方も良いですね。タイトルや見出しの見せ方も色、書体、ロゴ的にして親しみを出すなどとても良いと思います。ただ、大きさの大小を意識してメリハリをもっとつけてみるともっと良くなると思います。</p>
3 デザイン・レイアウト	<p>全体のレイアウトはページ数が比較的多く、ゆったりと使えることもあり良くまとまっていると思います。ところどころに使用しているかわいらしいアイテムも効果的に演出できています。デザインレイアウト的にここがダメ！と言うところはありませんでした。見出しの扱い、読みやすくするための工夫、飽きさせない努力が随所に見られ良いと思いました。</p> <p>ただ、上記にも記しましたが「メリハリ」をもっとつけてダイナミックに演出してもいいかもしれません。紙面に変化が出て見るのが楽しくなります。それから、写真の扱いについてですが、ほとんどの写真が角版（四角）ですが、動きを出すレイアウトを演出するためにも「切り抜き」をしてみてください。効果が実感できます。</p>
4 表紙	<p>赤でも記しましたが、写真の構図は良いのですがクオリティがいまひとつです。おかあさんの着ている服と帽子、手袋がハイライトが強すぎて飛んでしまっています。多分顔の暗さをフォローするために階調をあげたのだと思いますが、ちょっと表紙の写真としては良くないと思います。</p> <p>表紙は「顔」ですのでなるべく妥協しないようにしたいです。後はロゴとアイコンのメリハリ。もう少しどーんと大きく持ってきても良いと思います。並べ</p>

られたときに他の冊子の表紙に負けないイメージになります。

5 その他

表4（裏表紙）のお茶を蛇口から注ぐ子供たちの写真。目をつむってしまっています。それから主役の蛇口からお茶が出ている箇所のピントもボケています。

ちょっと惜しいです。写真は広報誌の命ともいえる大事なアイテムですのでなるべくきれいで状態の良い写真を選びたいです。カメラマンや取材した人にもその辺は伝えるのが大事だと思います。「素晴らしいデザイン」をいくら施しても、「最高の写真」には断然劣ります。

「特にアドバイスを得たい事項」に対するコメント

行政の広報誌という体質上「楽しみにして、発刊を待ち焦がれている」といったことはあまり無いと思いますが、「読んで面白い記事」と「情報を収集して暮らしに役立てる」「市政を知っておく」といった重要な目的があります。しかし「硬く」、ただ「伝えるだけ」のスタンスになってしまうと読者はやはり相応以上の期待は持たなくなりインターネットに押される今では離れていってしまうかもしれません。

そこで大切なのが「読みやすさ」と「面白さ」「読みたくなる演出」です。

「硬い」イメージを払拭したいのなら角を角丸にしてやさしい色調を選び、書体を丸ゴシックにしてイラストや切抜き写真をふんだんに使い、タイトルは手書き風にするなど、少しの工夫で効果が出せます。内容については身近な笑顔になるネタを探して紹介する、主婦をターゲットにした「お役立ち情報」などを積極的に盛り込むのが良いと思います。トレンドを動かしているのは「女性」です。ターゲットを明確にしてコンテンツを決めていくと良いと思います。